

表彰者名：松本 幸男 様（兵庫県神戸市）

表彰理由：平成23年から9年間にわたり兵庫県下の川取材し、川にまつわる歴史、文化、自然等を題材にした『ひょうご水百景』を作成、100号超えを契機として県の協力のもと430ページに及ぶ冊子にまとめ県下の図書館等に配布。県民の川への関心を深め、河川文化の発展に貢献された。

令和2年7月23日（木） 神戸新聞

氾濫、整備…河川と歩んだ80年



兵庫県が発行した冊子「ひょうご水百景」

松本さんは退職後、趣味の写真を撮りながら県内を巡り、河川の歴史的なエピソードなどをまとめた。2011年6月から1回のペースで、県がリーフレットとして発行。昨年9月に100号を達成した。今回の冊子には、108点に収められている。阪神間を流れる武庫川については、かつては「暴れ川」と呼ばれ氾濫を繰り返していた。また、県北部の円山川周辺で大正時代に、上水道の整備に尽力した豊岡市出身の実業家・中江種造の足跡も紹介。当時の町長の求めに応じ、工事費用の全額を寄付したことで、現在も地元で敬愛されている中江の功績を記している。

県、冊子「ひょうご水百景」発行

兵庫県河川整備課はこのほど、県内の河川に関連する地域の歴史・文化をまとめた冊子「ひょうご水百景」を発行した。同課の前身にあたる兵庫県河川課が設置されて昨年で80年となったことを記念して冊子の制作を企画。元職員で、県土整備部参事（武庫川対策担当）を務めるなど、長く河川に関わる仕事に携わってきた松本幸男さん（70）が執筆した。（杉山雅崇）

元職員9年かけ108話執筆
松本さんは「私の幼少期の川は汚かったが、上下水道が整備されていくにつれてきれいになった。この冊子を読んでも、美しい川を保つことの大切さを知ってもらえれば」と話している。

ほかにも、伊丹の日本酒の水運を支えた猪名川や、神戸の旧外国人居留地を洪水から守るために付け替えられた生田川、兵庫県多可町産の杉原紙を生んだ杉原川などを紹介。A4判434頁。各県民局、県内市町の図書館などに配布。送料着払いで無料で配布する。先着順。県河川整備課 078・362・3527



ひょうご水百景に掲載されている武庫川の写真 (兵庫県提供)



『ひょうご水百景』発刊の新聞記事

第4回 天満大池アサザまつり

魚とり 講演 生きもの展示

県下最古のため池「天満大池」には貴重植物（兵庫県版レッドデータブック白ランク）のアサザが自生しています。ため池周辺の生きもの展示や観察を行うイベントを開催します。

日時 平成26年10月5日(日) 10:00~13:00 小雨決行

開催場所 天満大池中土手広場（裏面地図参照） 加古郡稲美町六分-1179-1

内容

- 講演 天満大池と喜瀬川の治水 講師 松本幸男 元県土整備部参事
- アサザ・水生植物の説明会 講師 榎井信久 兵庫水辺ネットワーク
- 生きもの展示 講師 大島純行 兵庫水辺ネットワーク
- 魚のつかみ取り大会
- ため池クリーンキャンペーン
- 交流会 タコ焼き・ボン菓子・焼きそば

参加費 無料

主催/天満大池土地改良区、天満大池協議会
 協賛/天満大池ため池協議会、アサザを育む会、稲美町環境会議、兵庫・水辺ネットワーク、いなみ野ため池ミュージアム運営協議会

問い合わせ先 稲美町役場産業課 TEL079-492-9141 県内最古のため池「天満大池」西暦675年



平成26年10月 「第4回天満大池アサザまつり」にて講演
テーマ『天満大池と喜瀬川の治水』
(加古郡稲美町 天満大池)

歴史を知り、郷土愛を育む「がんばる竹田」推進事業
歴史講座【Ⅲ】

『竹田川河川工事絵図』を読み解く!!

「依田文書」に遺された明和九年（1772）四月・竹田川河川工事絵図の一枚

竹田地区自治振興会では、平成28、29年度にかけて、県民局の「がんばる地域交流・自立支援事業」の助成を受けて、市島町史実研究会の協力を得ながら、湯長谷藩領下竹田村で代官を務めた「依田家」に遺された貴重な歴史文化遺産「依田文書」を現代語訳本として発行するとともに、歴史講座シリーズ等を継続実施し、郷土の歴史への関心を高め、次世代へ引き継いで行こう、という運動を進めています。今回は歴史講座【Ⅲ】として、明和九年（1772）から安永三年（1774）迄の三年間に渡る河川工事絵図を専門家の講師をお招きして解説して頂きます。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

＜記＞

1. とき 平成28年9月23日(金) 13:30 ~
2. ところ 竹田コミセン多目的ホール
3. 講師 松本幸男氏
＜プロフィール＞兵庫県土木技術職員として長きにわたり河川関係の事業に携わる。平成9、10年度の2年間は当時の市島町の技監として勤務。「スポーツピアいちじま」の設計・建設も手がけた。退職後も県内各地の河川の歴史、文化などに目を向け、調査、研究に取り組んでいる。
4. 参加料 無料

主催：竹田地区自治振興会 協賛：市島町史実研究会 協力：丹波県民局 丹波土木事務所

表彰者名 : 加勢川開発研究会 様 (熊本県熊本市)
表彰理由 : 昭和 63 年に設立以来、緑川・加勢川を拠点とした河川環境学習の実施や伝統漁法の保存・伝承を行うとともに、河川清掃や水質浄化及び河川流域内・流域外への交流・情報発信等の活動を実施し、河川文化の発展に貢献された。(平成 26 年河川協力団体に指定)



魚お助けマン



小学校環境学習



投げ網

表彰者名 : 越後新川まちおこしの会 様 (新潟県新潟市)

表彰理由 : 平成 19 年に新川の環境保全などを行う団体として設立され、清掃活動を通じて川の環境美化啓発に努めるとともに、地域間交流を進め、新川開削 200 年の歴史と川と川とが交差する貴重な土木遺産とその魅力を後世に伝え河川文化の発展に貢献された。



新川水系一斉清掃 (2015/6/20)